



豊中市教育センター
〒560-0033 豊中市蛭池中町 3-2-1-600
TEL 06-6844-5290
FAX 06-6840-8127
平成25年(2013年)7月19日 第58号

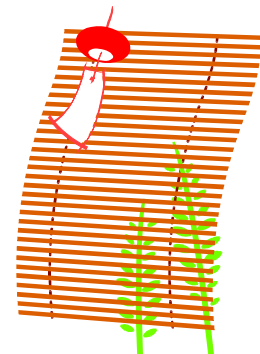
『車窓から思うこと』

千里中央から蛭池へ、モノレールの車窓からの景色は左に大阪平野を右に豊能の山々を望み、誠に圧巻である。景色のなかでさらに目を留めるのは学校の姿で、特に朝は校庭で活動する生徒の姿が跳ねるように元気で、見ているこちらまで元気になる。そのモノレールに子どもが乗っているとこれがまた楽しい。眼前の景色はウォーリー君の絵本のようにであり、並ぶ車はミニカーを渋滞させたようなので、2～3歳の子がそれを見ると「あれ、見て！あれ、乗る！あれ、何？」と驚きの連続である。文字が読めるようになったぐらいの子が乗ると、車窓からみえる店の看板や車の広告を次から次にアナウンスしてくれる。ある日こんな子にも出会った。やはり2～3歳ぐらいで自動改札の高さまで背も届かない子だったが、母親の後ろに続いて改札をぬける瞬間、高々と右手を挙げてピタッとIC読取り盤の上に手を広げたのである。すぐ後ろを進んでいた私はえっと思ったが、多分この子は前を進む母親が毎回財布をかざすのを見て、自分も毎日こうして進んでいるんだろう。こうした子どもの姿には、いつもながらその好奇心や学習する力の大きさを感じ、驚かされる。



夏休み、子どもたちはいろいろな人に出会い、いろいろな経験をするだろう。私たちも負けずに心のアンテナを高くかけ、学び続けていきたいものである。

当教育センターにおいては、この夏、約70の教職員研修講座を実施する。学校や世代を超えて、多くの教職員の皆さんが、ともに語り、学びあえる研修の場となることを心から願っている今日この頃である。





今年度の講座を紹介します。 ～理科講座はどれも大人気です。～

 1 親子理科連続講座 ～大気圧博士になろう～ 終了			
① 6/29 気圧ってなんだ	② 7/6 大気圧と力比べをしよう	③ 7/13 水蒸気を使った真空実験を楽しもう	
 2 夏休み理科自由研究相談会 受付終了			
① 7/20 事前相談 テーマの選び方・進め方	② 8/3 中間相談 途中経過について	③ 8/24 まとめ相談 まとめ方について	
 3 サイエンスカフェ for キッズ 受付終了			
7/27 彗星と流星群の不思議 ～彗星・流星群や太陽の観察をおして～			
 4 夏休み子ども標本相談（同定会）			
8/24 夏休みに採取した虫・植物・岩石などの名前を教えます。理科の自由研究の相談も受け付けます。			
 5 第59回 豊中市立小・中学校 理科展、科学教室			
理科展 9/13～9/18(9/16は休館) 市立小中学校の夏休みの自由研究作品の展示をしています。 科学教室 9/14・15 中学校・高等学校の科学クラブのみなさんによる体験型教室です。			
 6 第59回 豊中市立小・中学校理科展表彰式・作品発表会			
12/7 (予定) 豊中市小・中学校理科展で各賞に選ばれた作品を表彰します。 受賞作品制作者による作品発表 大学総合学術博物館の先生によるお話			
 7 サイエンス フェスティバル			
2/15 サイエンスクラブによる発表（体験型科学ブースの設置） サイエンスショー 南部陽一郎賞 表彰式（科学ブースの中から選ばれます。）			



夏季教職員研修

どうぞご参加ください！

○研修概要

『ことばの力
～たましいを運ぶ舟～』

○講師

道浦母都子さん

歌人（中学2年国語教科書『短歌を楽しむ』の筆者）

○日時

8月9日（金）
10：00～11：30

○会場

豊中市立アクア文化ホール
（阪急宝塚線曾根駅下車 東 300m）

平成25年度(2013年度)夏季教職員研修会（市民公開講座）

ことばの力

～たましいを運ぶ舟～

講師
みちらら もとこ
道浦 母都子さん

歌人（元豊田市教員）。昭和22年（1947年）和歌山県生まれ。大阪府立北野高等学校卒業。早稲田大学文学部在学中に短歌誌『米海』に入会し、昭和55年（1980年）に歌集『無敵の舟』で現代歌人協会賞を受賞。歌集『風の雫』『夕歌』等、絵本、小説も手がける。講演のサブタイトルは、平成22年（2010年）に出されたエッセイ集『たましいを運ぶ舟』からとった。

日時 平成25年(2013年)
8月9日（金）
10：00～11：30（開場・受付 9：30）

会場 豊中市立アクア文化ホール
（阪急宝塚線「曾根」駅下車、東へ300m）

申込 市民のみなさまへ公開しております。定員50名
8月1日（木）から受付開始 **先着順**
☎ 電話受付（土・日を除く平日の9：00～17：00）
📄 豊中市教育センターホームページから受付

豊中市教育センター
〒560-0033 豊中市蛸池町3-2-1-600
問い合わせ先 電話：06-6844-5294 FAX：06-6840-8127
ホームページ <http://www.toyonaka-osa.ed.jp/educ/>



どうぞご参加ください！



新刊図書案内



『声に出して読む文学』
音読暗礁テキスト初級

小学校国語
『言語活動パーフェクトガイド』
単元全体の指導過程が4コマのイラストでパッとわかる



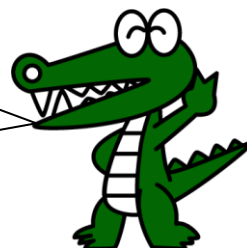
『算数授業のつくり方』
明日の算数の授業は、もっと
もっと笑顔がいっぱいになります

『国語授業のつくり方』
国語授業の問題点が
この一冊ですべてわかる



上記以外に、授業づくりや言語活動などの新刊図書を約40冊 ロビーに展示しています。貸し出しもできます。是非、お立ち寄りください。

たくさん新刊が入りました。見に来てね！



教育センターでの教育相談って？

教育相談チームでは、3歳半から中学3年生までの子どもと保護者を対象に、来所によるカウンセリングやプレイセラピー等を通じた相談活動を行っています。相談のきっかけが学校園からの紹介という場合も多くありますが、教育相談についてあまりご存じでない場合もあるようです。そこで、今回は教育相談での取り組みについてQ&A形式でお知らせしたいと思います。

Q:どんなことをしているのですか？

A：子どもとはプレイセラピーを通してその子の考えや理解の仕方、人とのやり取りの仕方などについて知ることから始めます。専門職の担当者が子どもの言動を受け止め丁寧に言葉かけをしていく中で、子ども自身の考える力や表現する力を広げるような関わりをしています。また、保護者とは子どもの様子を共有しながら子ども理解や課題への対応方法について一緒に考えていきます。

Q:発達検査や診断はしてもらえますか？

A：検査のみや診断をお求めの場合は医療機関をご紹介します。相談を重ねる中で必要に応じて発達検査は実施していますが、医療機関のように検査結果から発達の状態を判定したり診断したりするのではなく、検査を通して子どもの様子を多面的に捉え、今後の対応や支援方法などを考えることを目的にしています。

Q:学習面に課題のある子どもについて、指導をしてもらえますか？

A：学習指導はしていませんが、プレイセラピーでの様子を通してその子の理解の仕方や学びやすい方法を知ることができます。

(例) ◆玩具がたくさんあり過ぎると集中できない⇒学習課題の量の調整
◆ルールを理解する前に遊び始めて、途中で怒って投げ出してしまう
⇒学習課題に取り組む前に、問題文が理解できているか確認する など

Q:教育相談での様子は教えてもらえますか？

A：保護者の了解があれば、子どもの様子について学校園に伝えることができます。

保護者は緊張と不安のなかで来所されることも多いです。

「子どもへの関わりに活かしていきたい」「保護者と一緒に子どものことを考えていきたい」というメッセージを込めて紹介していただくと保護者も安心して相談に来ることができます。次号では、「保護者との関わり」をテーマに取り上げる予定です。

